

江川校区ふくしプラン 2025 ▶ 2029



江川校区では、皆さんが現在も、そしてこれからも安心して暮らしていける地域づくりのために、地域の関係者で話し合っ「人生100年時代！いつまでも安心して暮らせるまち 江川」を理念とする2025年から2029年までの5年間計画を作成しました。目標やその達成に向けた取り組みが掲載されていますので、是非ご一読ください。



江川校区社会福祉協議会

ごあいさつ

6月末に江川校区社会福祉協議会（以下「江川校区社協」）の林正博会長がご逝去されました。

今回の江川校区ふくしプラン（小地域福祉活動第1次計画）の作成にあたっては、30区豊島会長、34区松原会長、39区多田会長などのご支援をいただき、ようやく完成いたしました。

江川校区は、農村部、漁村部、新興住宅地、市営団地と、広範囲に特色の異なる地域性が存在する地域で、課題もそれぞれ違っています。

しかし、地域の公民館を中心とした自治区活動がしっかりしており、見守りや困りごとの解決は、それぞれでできています。そういった背景を踏まえつつ、5年後、10年後の江川校区を思い描きながら、「つながり」を念頭に置き、計画を立てました。

令和7年度からの5年間で「人とのつながり」「地域とのつながり」「関係機関とのつながり」など、この江川校区をより良い地域にするために、多くの皆さんと連携していけたらと考えています。

また、地域には古くから続く行事が多くあります。行事に参加し、伝承していくために、他人事ではなく自分事として考えてもらえたらという思いを、この江川校区ふくしプランに込めました。

この計画の実施に対しての地域の皆さんの更なるご理解とご協力をお願いする次第です。

最後にこの計画の策定に当たりご尽力、ご協力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。

江川校区社会福祉協議会
会長代行 小田 國次

もくじ

ごあいさつ	・・・1P
第1章 計画策定にあたって	・・・2P
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第2章 江川校区の現状と課題	・・・3P
1 地域社会の動向	
2 地域の福祉課題	
第3章 計画体系	・・・4P
1 基本理念	
2 基本目標	
3 実施項目（体系図）	
4 重点実施項目	
第4章 計画の推進	・・・7P
1 計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第2次計画の策定	
参考資料	・・・8P

第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

江川校区の様々な福祉課題を解決するために、地域住民・諸団体等が将来の見通しを持ち計画的に活動しようとするための行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

江川校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の基本とする計画です。

(3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会と連携する計画

北九州市及び北九州市社会福祉協議会の計画と連携しながら、地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 江川校区の活動指針となる計画

社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

2 計画の期間

令和7年度から令和11年度の5ヵ年とします。また期間中に地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直します。

3 計画の策定経過

地域の福祉活動を進めるために北九州市社会福祉協議会が開催している「ふくしのまちづくり講座」を活用し、小地域福祉活動計画の必要性を学ぶ講座と、ゲームを通じて超高齢社会を体験する講座を受講し、計画策定をスタートさせました。

地域の課題や残していきたいものを把握するためのアンケートを3つの自治会で実施し、アンケート結果を基に体系図（案）を作成しました。役員を中心に意見交換を行い、計画を完成させました。



第2章 江川校区の現状と課題

1 地域社会の動向

江川校区データ

令和6年9月30日現在

人	口	4, 5 1 1 人	幼 稚 園 等	花乃路保育園 行学幼稚園
世 帯 数	2, 1 5 5 世帯		小 学 校	江川小学校
			中 ・ 高 校	洞北中学校
年 少 人 口 (0 ～ 1 4 歳以上)	4 6 7 人	市民センター・公民館	島郷市民センター 有毛公民館 乙丸公民館 蟹住公民館 岩屋漁村センター 蟹住団地集会所 市立稲国集会所 花野路集会所	
生 産 年 齢 人 口 (1 5 ～ 6 4 歳)	2, 8 2 5 人			
65 歳以上の高齢者数 (75 歳以上を含む)	1, 2 1 9 人			
75 歳以上の高齢者数	7 0 7 人	地域包括支援センター	若松 2	
高 齢 化 率 (65 歳以上の高齢者)	2 7 . 0 2 %			
地域内の その他社会資源等		【医療関連】 住田病院 【福祉関連】 玄海介護保険支援センター（居宅介護支援） アピス（居宅介護支援） ケアハウス玄海（経費老人ホーム） デイサービスセンター花乃路（特別養護老人ホーム） 介護老人保健施設シルバーケア玄海（通所介護・リハビリ） グループホームふき（認知症高齢者グループホーム） グループホーム玄海の森（認知症高齢者グループホーム） 【そ の 他】 国立県営福岡障害者職業能力開発校 亀の井ホテル玄界灘（旧かんぽの宿北九州）		

2 地域の福祉課題（および小地域福祉活動の課題）

(1) 高齢化

江川校区の高齢化率は27%と若松区平均の33%より低い状況です。これは、39区自治会の花野路地区の高齢者が少ないためです。ただし、その他の地域では、高齢化率は40%を超えており、今後も「高齢化」が進む傾向にあります。

(2) 少子化

江川校区の年少人口は467人と人口の10%です。ただし、「10～14歳以上」の人口が年少人口の半分に当たります。34区自治会の市営蟹住団地があるおかげで、年少人口が0（ゼロ）にはなりません、今後は、「少子化」の傾向が進むと考えられます。

第3章 計画体系

1 基本理念

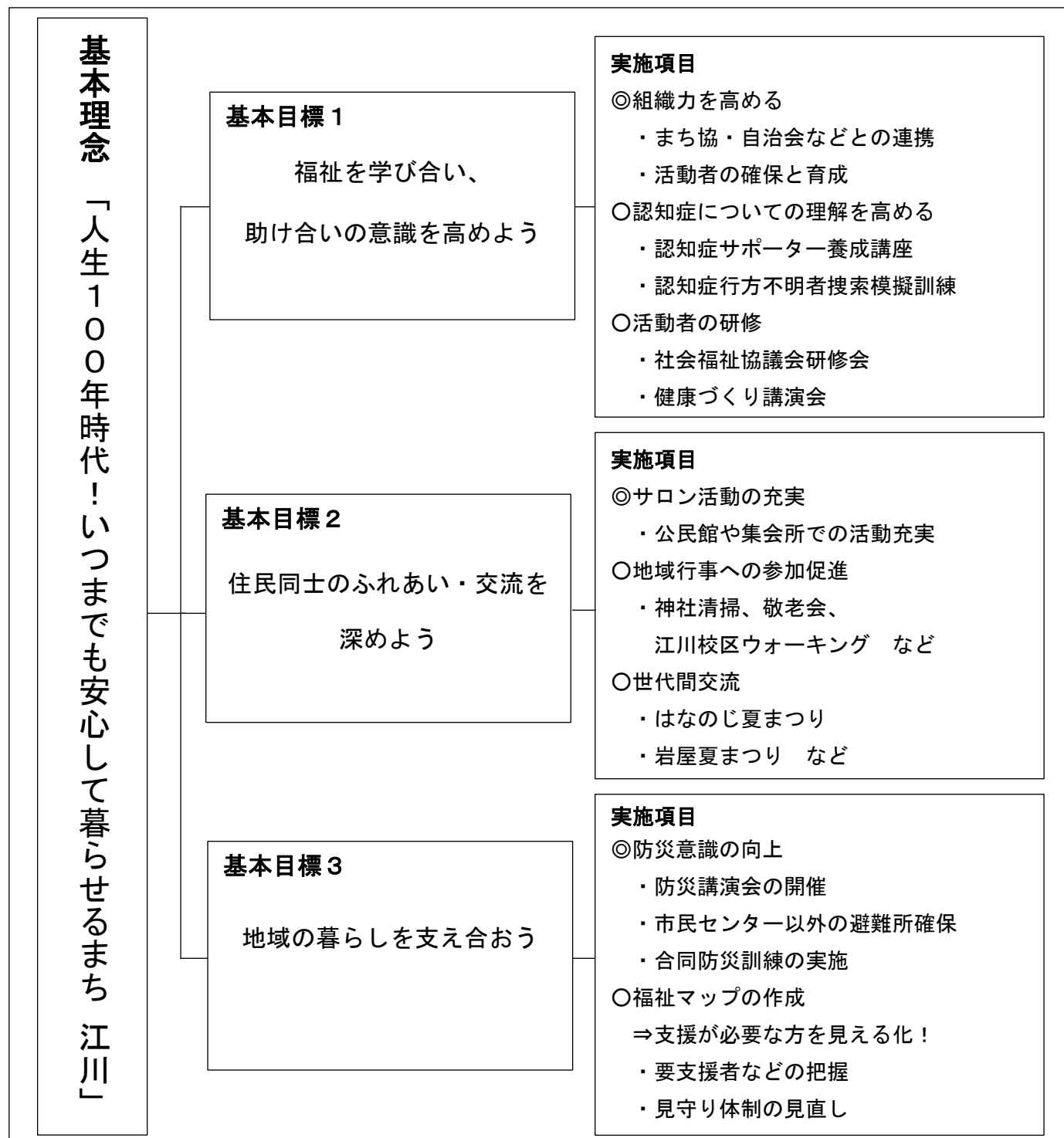
人生100年時代！いつまでも安心して暮らせるまち 江川

2 基本目標



- (1) 福祉を学び合い、助け合いの意識を高めよう
- (2) 住民同士のふれあい・交流を深めよう
- (3) 地域の暮らしを支え合おう



3 実施項目（体系図）



◎重点的に実施する項目



4 重点実施項目

重点実施項目 1		組織力を高める					
1 課題背景							
江川校区が広範囲な地域であることから、各自治会長とまちづくり協議会会長との間では、LINE による情報共有がなされている。今後は、自治会や社協の情報共有も SNS などの利用により効率的なものにしていくとともに、昼間働く人も自治会や社協役員になっても活動しやすい環境にしていく必要がある。							
2 活動の方針・目標							
① 情報共有のしくみと工夫 ② 働いている人も活動できる環境づくり							
3 段階的な取組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R 7	R 8	R 9	R10	R11	備考
情報共有のしくみと工夫	まち協 自治会 校区社協						
働いている人も活動できる環境づくり	まち協 自治会 校区社協						

重点実施項目 2		サロン活動の充実					
1 課題背景							
江川校区では、ふれあいを通して生きがい・健康づくり、仲間づくりの力を発揮するため、有毛公民館で「有毛サロン」、蟹住公民館で「蟹住喜楽会」、岩屋漁村センターで「岩屋サロン」、花野路集会所で「はなのじサロン」といったサロン活動を実施している。今後も多くの地域住民が気軽に集まれるよう、サロン活動の充実が求められている。							
2 活動の方針・目標							
① 年間活動計画の作成 ② 住民へのサロン活動周知 ③ 参加しやすい環境づくり							
3 段階的な取組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R 7	R 8	R 9	R10	R11	備考
年間活動計画の作成	校区社協 若松区社協						各サロンで検討
住民へのサロン活動周知	自治会 民児協 校区社協						
参加しやすい環境づくり	自治会 民児協 校区社協						

重点実施項目 3		防災意識の向上					
1 課題背景							
<p>二島校区から花房地区には、地震発生の可能性のある「頓田断層」が存在する。また、近年の異常気象により、いつ災害が発生してもおかしくないものと考えられる。</p> <p>大規模災害に際しては、地域による互助活動が必要とされており、防災意識向上が急務である。</p>							
2 活動の方針・目標							
<p>① 防災に対する意識の喚起</p> <p>② 防災対応訓練等の実施</p> <p>③ 要支援者情報の把握</p>							
3 段階的な取組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	備考
防災に対する意識喚起（研修会）	自治会 校区社協 若松区社協						ふくしのまちづくり講座
防災対応訓練の実施	まち協 自治会 校区社協 民生委員						一次避難所の選定
要支援者情報の把握	自治会 校区社協 民生委員						福祉マップ等の作成

p4にあるその他の活動も5年間の間に取り組みを進めていきます！



第4章 計画の推進

1 地域への計画の承認と周知

- (1) 校区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
 - (2) 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
 - (3) 計画書概要版の配付等を通じた校区住民への周知
- 以上について、計画を推進していくために、計画の広報活動を行います。

2 計画を推進するための体制

- (1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、江川校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理を行います。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

以上について、委員会では協議を進めていきます。

- (2) 計画の進行管理

江川校区小地域福祉活動計画推進委員会を開催します。（当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認など）委員会では、PLAN（計画立案）・DO（実行）・CHECK（点検・評価）・ACT（改善）というPDCAのサイクルを回しながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合には、その原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。



- (3) 計画の評価

計画期間の中間点では計画全体の間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第2次計画の策定

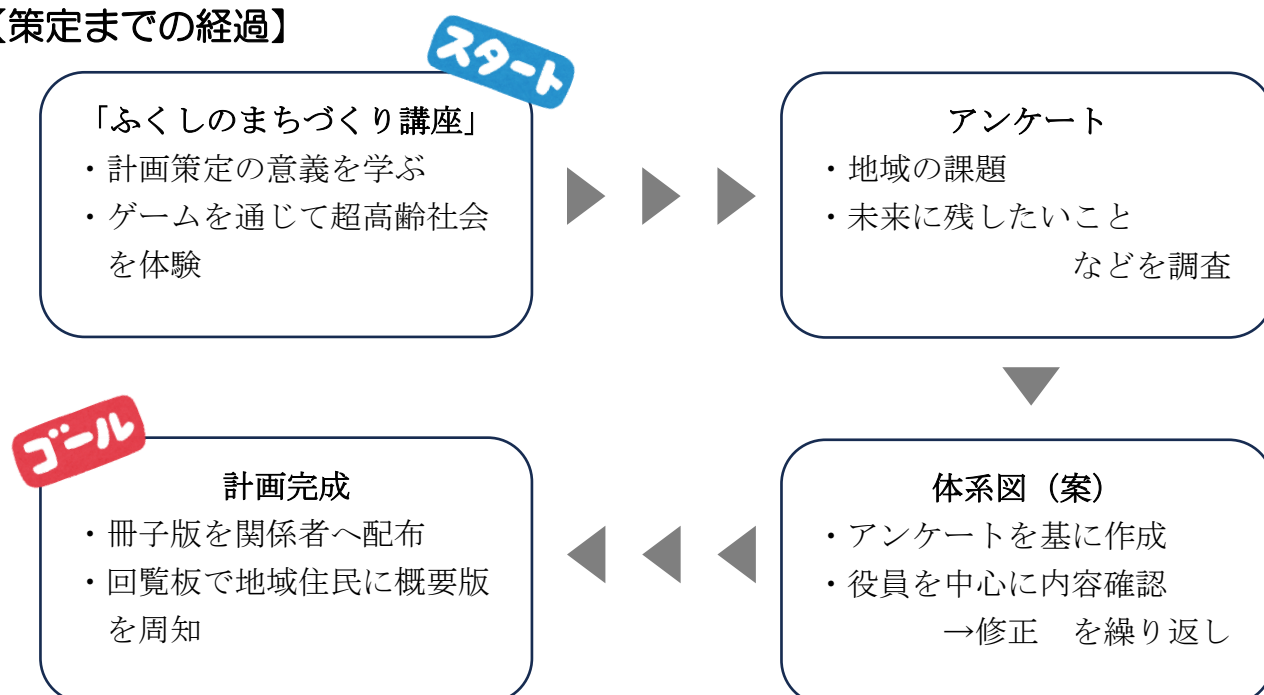
第1次計画の推進状況を踏まえ、第2次計画の策定期（計画第5ヶ年度）には新しく第2次計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。

参考資料

【江川校区小地域福祉活動策定委員名簿】

	氏 名	所属団体等	役職	備 考
1	小田 國次	江川校区社会福祉協議会	会長代行	江川校区まちづくり協議会会長
2	多田 政博	江川校区社会福祉協議会	副会長	39 区自治会長
3	豊島 茂	江川校区社会福祉協議会	監事	30 区自治会長
4	林 敏夫	江川校区社会福祉協議会	監事	岩屋区長
5	石橋 照美	江川校区社会福祉協議会	会計	健康づくり推進員
6	松原 博幸	江川校区社会福祉協議会	理事	34 区自治会長
7	杉原 清	江川校区社会福祉協議会	理事	有毛区長
8	中嶋 洋	江川校区社会福祉協議会	理事	蛸住区長
9	白石 秀敏	江川校区社会福祉協議会	理事	乙丸区長
10	細川 義春	江川校区社会福祉協議会	理事	稲国区長
11	寺本 裕子	江川校区社会福祉協議会	理事	民生委員・児童委員 江川・ひびきの地区 副会長
12	吉住 衛	江川校区まちづくり協議会	部会長	健康づくり推進員
13	鎌足 利春	江川校区まちづくり協議会		30 区防犯部長
14	中村 淳一			健康づくり推進員
15	本田 里美			健康づくり推進員
16	小田 浅子			健康づくり推進員
17	天野 和子			健康づくり推進員

【策定までの経過】





【問い合わせ先】

江川校区社会福祉協議会

30区

岩屋・稲国・有毛・
蜷住・乙丸地区

拠点：有毛公民館
(若松区大字有毛682番地)

34区

蜷住団地・蜷住

拠点：蜷住団地集会所
(若松区大字蜷住)

39区

花野路

拠点：花野路集会所
(若松区花野路1丁目22番)

若松区社会福祉協議会

〒808-8510 北九州市若松区浜町一丁目1番1号 若松区役所内
TEL 093-761-3422 FAX 093-761-3660

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号 ウェルとばた8階
(代 表)TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579
(地域福祉部)TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351